



インターネットでの情報提供	
提供予定日	2月2日(木)

平成24年2月1日(水) 県政記者クラブ、大垣市政・経済記者クラブ 同時配付			
所管課	担当	担当者	電話番号
商工労働部情報産業課	IT拠点担当	松尾 晃	直通 058-272-8378 内線 3114
情報科学芸術大学院大学・岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー事務局	教務課	田中 雅之	0584-75-6600 内線 104
財団法人ソフトピアジャパン	事業連携推進課	太田 秀昭	直通 0584-77-1188

ソフトピアジャパンにITとものづくりの交流拠点 「f.Labo (エフラボ)」をオープンします！

県及びIAMASでは、今年から、ものづくりの原点から文化の創造まで、広い視野で地域のコミュニティと共に考え、作る「IAMAS Labo (イアマスラボ)」を進めていくこととしました。

この活動の一環として、このたびIAMASの人材や技術を活用したITとものづくりの交流拠点「f.Labo (エフラボ)」をソフトピアジャパンのドリーム・コアにオープンします。

f.Laboは、3次元プリンターやレーザーカッターと呼ばれる製品の試作開発などで使用される工作機器を備え、自らのアイデアを基に、アクセサリから電子回路を組み込んだ電子工作機器まで、様々な製品の試作開発に取り組む方々が活用し、相互に交流を図る拠点です。

また、あわせて、ワークショップや勉強会等を随時開催し、試作開発手法の第一人者であるIAMASの小林茂准教授を中心に、利用者が取り組みや意見を交換しながら、アイデアを製品化する手法を学ぶことで、新たな製品の展開を誘発していきます。

なお、2月10日(金)には、このオープンを記念して、式典やシンポジウム、ワークショップなどを行う予定ですので是非ご参加ください。

記

1. f.Labo (エフラボ) の概要

(1) 名称・場所等

- ・名称：f.Labo (エフラボ)

f (エフ) には、fabrication (制作、加工) という意味だけでなく、fan (愛好者)、future (未来)、foundation (出発点)、freedom (自由な) 等の様々な要素を含みます。

様々な工作機器を活用しながら、多様な利用者 (参加者) が、自由な発想で交じり合い、失敗も繰り返しながら、独自の製品展開を目指す実験工房 (Laboratory) です。

- ・場所：ソフトピアジャパン ドリーム・コア1F
- ・開設日：平成24年2月10日(金)
- ・営業時間：平日 午前9時～午後5時まで (週1日程度、21時までオープンします)
※企画内容や利用者の状況に応じて平日夜や土日祝日も行う予定です。

・事業主体：岐阜県

※緊急雇用事業「ソフトピアジャパン・I AMAS連携によるITとものづくり交流促進事業委託業務」により(財)ソフトピアジャパンに委託し、I AMASと連携して実施します。

(2) f. Laboの内容

f. Laboでは、以下の工作機器をご利用いただけます。

(ただし、f. Laboが用意する必要な講習を受講された方に限ります)

- 3次元プリンター(3次元造型機)
3次元CGデータを基に樹脂により立体造形することができる機材
- レーザーカッター
複雑な形や綺麗な曲線を切り出して切断・彫刻加工ができる機材
- スチロールカッター
熱線を利用した発砲スチロール等の加工ができる機材
- 小型切削機(iModela)
樹脂、アクリル等を様々な形に切削することができる機材
- クラフトカッター
デジタルで作成したデータに従って、手軽に紙等のカッティングができる機材
- CNCフライス
電子基板、アクリル板、アルミなどの切削加工を行うことができる機材

- ・利用料は原則無料(ただし、材料等は利用者においてご準備願います)。
- ・工作機器の利用にあたっては、事前に予約が必要です。
また、初回のご利用にあたっては工作機器等の講習が必要ですので、まずは電話でお問い合わせください。

<お問い合わせ先>

(財)ソフトピアジャパン事業連携推進課 Tel:0584-77-1188

■f. Laboの特徴

f. Laboは、単に工作機器の自由な利活用や、その使い方をマスターすることを目的とする拠点ではなく、以下の取り組みや機能により、利用者間で取り組みを共有したり、意見を交換し発展させることで、新しい製品や企画を創出していくことを目的とした交流拠点です。

- ・ものづくりに関わる方々が集うカフェ(たまり場)
- ・ワークショップ・勉強会・ものづくりの交流イベントなどによる交流等
- ・I AMASや利用者との共同による製品研究プロジェクトの推進

■今後の展開

f. Laboは、今後、効果的な手法を試行錯誤しながら運用し、近い将来、工作機器を備えたオープンな工房と、その世界的なネットワークである「FabLab(ファブラボ)」(※)に発展させ、世界的なグローバルなものづくりと岐阜というローカルな地域の二つの視点で活動していくことを目指しています。

- (※) F a b L a bは、マサチューセッツ工科大学で行われた研究活動に端を発し、個人が、自らの必要性や要求に応じて、自分自身でものを作り出せる「ものづくり革命」をビジョンとして掲げ、欧米を中心とした世界20カ国と50カ所以上の地域(H23.4現在)に存在し、急速に広まっている(1年に2倍のペースで増えると言われる)。
日本では、平成23年5月にF a b L a b 鎌倉とF a b L a b 筑波が同時に誕生した。

(3) 取り組みの経緯

■ものづくりの新しい流れ

近年の急激な社会経済の変化や、趣向の多様化、消費者人口の減少により、規格化・分業化された大量生産型のものづくりから、多品種個別生産型のものづくりへのシフトが求められつつある。

こうした中、3次元プリンターなどの工作機器の低価格化と、試作モデルを作りながらアイデアを展開する開発手法を背景に、大規模な設備のない事業者・個人でも独自の製品の開発が可能となりつつある。

■I A M A Sの取り組み

I A M A Sでは、小林茂准教授を中心に、このような新しいものづくりの動きに早くから着目し、研究・活動に取り組んでおり、近年、下請けからの脱却や、アイデアを元に独自製品を開発したい県内の中小事業者・個人などから、アイデアを形にして製品化していく開発手法や、I A M A Sにある工作機器を利用して実際に作業しながら学びたいという要望が多数寄せられている。

f . L a b oは、こうした個人や企業からの要望を元に、「多品種個別生産型」の手法により、県内企業の新たな製品創出を図ることを目的に行うもので、公的な機関としては初の取り組みとなるものです。

(参考①) f. Laboのイメージ

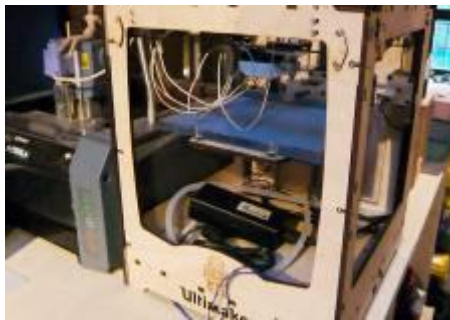
アイデアを



利用者がオープンに交流しながら



f. Laboにある様々な工作機器を活用して

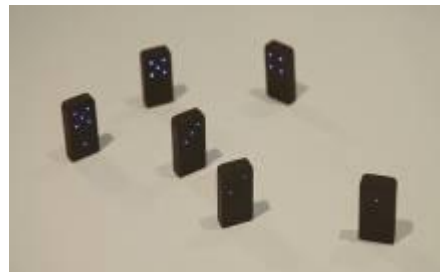


3次元プリンター
デザインデータをもとに立体モデルを造形する機材



レーザーカッター
複雑な形や綺麗な曲線の切り出しが可能な切断・彫刻加工を行う機材

アイデアを具体化



(参考②) 小林茂 (こばやし しげる) 氏 略歴



- 岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー准教授、情報科学芸術大学院大学非常勤講師。
- 昭和 45 年愛知県名古屋市生まれ (42 歳)。
- 平成 5 年より電子楽器メーカーに勤務した後、平成 14 年 7 月より IAMAS でフィジカル・コンピューティング等の講義を担当。

【主な実績・活動】

- 平成 17～平成 19 年に、試作品をつくって感覚やデザインを確かめながら徐々に完成度を高めていく画期的なものづくりの手法を実践するための基盤を開発するとともに、その仕組みを無償で公開。

この基盤や仕組みは、東京大学、京都大学、慶應義塾大学をはじめとした多くの大学の研究開発等で広く活用されるとともに、この仕組みを活用した機器を販売する企業も現れるなど、産業界にも大きな影響を与えた。

- これまで、(株) 東芝デザインセンターや、日本写真印刷 (株) をはじめとした多数の企業との共同研究に取り組み、近年では、スマートフォンや iPad 等に代表されるタッチパネルを題材とした共同研究を実施。
- 一般向けの公開講座等にも精力的に取り組んでおり、ソフトピアジャパンでのものづくりの公開講座や、地元高校生向けの課題研究の指導に取り組む他、平成 22 年には「大人の科学マガジン」((株) 学研教育出版) において企画段階から参加し、付録ボードの設計、解説記事の執筆等も担当した。
- また、(株)オライリー・ジャパンが主催するものづくりの交流イベント「Make : 」においても中心的な役割を担い、個々のアイデアを活かした新しいものづくりの普及展開に取り組んでいる。

2. オープニングイベントの概要

(1) 日 時

平成24年2月10日(金) 13:30~18:00

(2) 内 容

①記念式典・内覧会(13:30~14:15、ドリーム・コア1F)

- ・主催者、来賓等挨拶
- ・テープカット
- ・内覧会(工作機器の使用デモを含む)

②シンポジウム(14:30~16:30、ドリーム・コア2Fメッセ)

日本を代表するクリエイターの方々を招いて、それぞれの方の取り組みを踏まえ、これからの新しいものづくりの可能性や展開、f.Laboが目指すものについて考えるシンポジウムを開催します。

- ・名称:ローカルとグローバルの両方を視野に入れた新しいものづくりの可能性(仮称)

・講師:
(予定)

慶應大学環境情報学部准教授/ファブラボジャパンファウンダー
田中 浩也(たなか ひろや)氏
FPGA-CAFE/FabLab Tsukuba 店長
すすたわり氏
株式会社GClue 代表取締役
佐々木 陽(ささき あきら)氏
I AMAS 准教授
小林 茂(こばやし しげる)氏 他

- ・定員:50名程度
- ・参加料:無料

③ワークショップ(17:00~18:00、ドリーム・コア1F「f.Labo」)

f.Laboの工作機器(レーザーカッター)を用いた、簡易な作品の制作体験ワークショップを開催します。

- ・定員:10名程度(1回当たり5名、30分程度×2回)
- ・参加料:無料

【シンポジウム・ワークショップの申し込み方法・期限】

- ・平成24年2月8日(水)までに、参加者の氏名・所属・連絡先を下記のメールアドレス又はFAX番号までご連絡下さい(申し込み多数の場合は、先着順となります)。

申し込み先… E-mail:renkei@softopia.or.jp Fax 番号:0584-77-1107

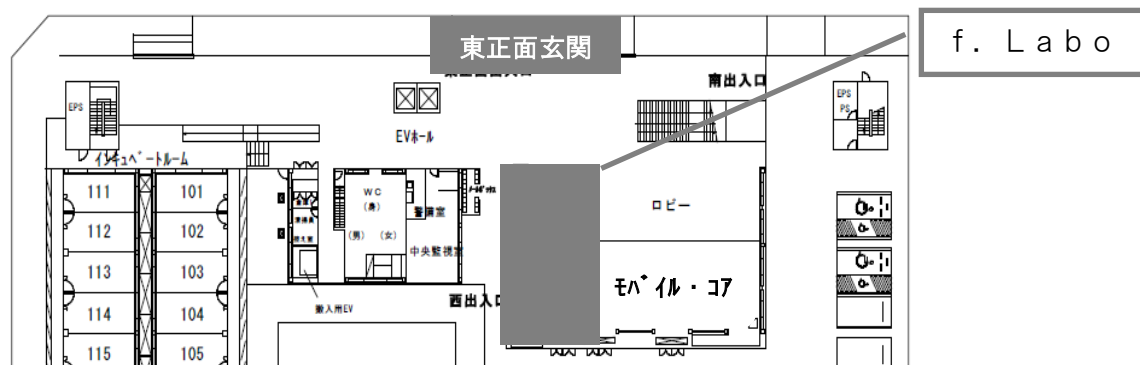
(問い合わせ先)

財団法人ソフトピアジャパン 事業連携推進課

Tel:0584-77-1188、Fax:0584-77-1107、E-mail:renkei@softopia.or.jp

(参考：f. Laboの場所)

ソフトピアジャパン ドリーム・コア1F (大垣市今宿6-52-16)



3. 今後のIAMASの展開「IAMAS Labo (イアマスラボ)」 ～「新しいもう一つのIAMAS」の始動～

2012年から社会に開かれた新しいもう一つのIAMAS、「IAMAS Labo」が、ソフトピア地区でスタートします。

IAMASでは、これまでソフトピアジャパンを中心に、入江経一教授が主宰するデザインと産業をテーマに語り合うコミュニティ「i. Labo」や、多彩な教授陣による公開講座「ものづくり講座」などを展開してきました。

今後は、こうした取り組みに加え、今回ご紹介した「f. Labo」や、さらに三輪眞弘教授がIAMASのアーティストを中心に展開する「a. Labo」などを開催し、ものづくりの原点から文化の創造まで、広い視野で地域のコミュニティと共に考え、作る「IAMAS Labo」を展開していきます。